



「平成29年度市民学芸員の会」の各グループが活動しています。この第21号では、その現状並びに、情報発信グループの調査結果を報告します。

## 講演会の実施状況

1. 「みはら玉手箱」の第20号に記載の全5回の講演会は全て予定通り実施されました。
2. 《小早川隆景ものがたり》の全講演も好評で無事終了しました。

## 各グループの活動状況

### 1. 情報発信グループ

市民学芸員の活動状況や三原関連のおもしろクイズ、市内各地の祭り・石碑・狛犬などを紹介する「みはら玉手箱」の第19号、第20号、第21号は発行済みで、第22号を準備中です。

### 2. 宮本常一写真収集グループ

本年7月27日～8月4日 宮本常一写真展を実施しました。周防大島にある宮本常一記念館所蔵の膨大な写真の中で、三原市関係の約1,600枚から250枚を選定し、41枚の大型パネルに収め、説明を付けて展示したものです。

### 3. 三原古写真収集グループ

古写真集の第3弾として、平成17年に新三原市として合併した本郷町、久井町、大和町に範囲を拡げ、旧町誌編纂の際に使用された写真を整理して発行しました。写真だけでは被写体に込められた様々な状況が判らず、現地に何回も足を運んで調査した結果を解説文にまとめました。

### 4. 城下町体験グループ

スマートフォンやタブレット端末を持って目的地で画面上の解説を読む観光客のために、「三原地図さんぽ」の名称で、三原市の東町から本町、西町までの範囲で案内するソフトがあります。これに5枚の古地図が追加されたので、グループで手分けして解説文追加等で支援しました。今後は、利用者の利便性向上への知恵出し等で協力します。

### 5. 城館体験グループ

これまで作成した資料の見直し作業中です。

### 6. 三原遺産研究グループ

明治から昭和40年代頃の範囲で、市内各地に残された近代化遺産（工業、林業、教育など）に焦点を当てて収集し、現在編集作業中です。

### 7. 市民学芸員運営グループ

今年度は、築城450年関連の講演会が多かったので、受付業務等に追われる1年間でした。

【質問受付】この「みはら玉手箱」への質問等は  
三原市教育委員会文化課  
bunka@city.mihara.hiroshima.jp宛に  
お寄せください

# みはら おもしろクイズ



(解答は3/13頁の欄外にあります)

## 真夏のイベント佐木島のトライアスロンとは？

2020年に開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、全国的に各種スポーツ大会が盛んであります。そんな中、毎年佐木島で開催されるトライアスロンは、地元をはじめとする大勢のボランティアに支えられた家族的大会として人気があります。今年の大会の様子は次項の「三原のお祭り」で詳しく報告していますが、ここではトライアスロンの歴史を振り返ってみましょう。

### 1. トライアスロンとは？

トライアスロン (triathlon) とは、ギリシャ語で数字の「3」を意味する接頭辞 tri- と「競技」を意味する athlon の合成語で、英語の発音で「トライアスロン」と呼ばれたものです。水泳、自転車ロードレース、長距離走（スイム、バイク、ランという）の3種目を、この順番で一人の競技者が連続して行う耐久競技です。



### 2. トライアスロンの歴史

#### 2.1 国際的経緯

- (1) 1974年9月25日、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴで、**世界初のトライアスロン大会**が実施され、46人の選手が出場しました。
- (2) 1978年ハワイで、アイアンマン・トライアスロンが行われました。この時は、スイム3.8km、バイク180km、ラン42.195kmで制限時間17時間でした。これがアイアンマン世界選手権へと発展しました。
- (3) 1982年、3種目のレース距離を、スイム1.5km、バイク40km、ラン10kmに短縮し、ショート・ディスタンス(短距離)とした新たな国際基準が設定されました。
- (4) 2000年9月、シドニーオリンピックでトライアスロンが正式種目となり、競技時間の関係上ショート・ディスタンス形式が採用されました。国際的には、ショート・ディスタンスをオリンピック・ディスタンスと呼ぶようになりました。



夏季オリンピック  
ク・トライアスロン  
競技のシンボル  
マーク

#### 2.2 日本での経緯

- (1) 昭和56(1981)年8月20日、鳥取県米子市の皆生温泉旅館組合の若手経営者達が、**日本初**のトライアスロン大会となる「皆生トライアスロン'81」を開催し、53人の選手が出場しました。
- (2) 昭和60(1985)年4月28日、現在の宮古島市で「第一回全日本日本トライアスロン宮古島大会」が開催され、241人の選手が出場しました。
- (3) 平成元(1989)年9月17日、「'89トライアスロン・ジャパンカップ・イン佐渡」が開催され、1,328人の選手が出場しました。
- (4) **平成2(1990)年9月9日、「第1回さぎしまトライアスロン」が開催されました。**
- (5) 平成10(1998)年9月5日、現在の佐渡市で、アジアで初めてロング・ディスタンス（スイム3km、バイク136km、ラン28km）の世界選手権が開催されました。

→ 現在日本各地でトライアスロンが開催され、広島県でも今年8箇所でしたが、佐木島は島の特長を活かして、かなり早期から開催されていたようです。

### 3. トライアスロンの種類

#### 3.1 国際トライアスロン連合 (ITU) の規格

種 類	スイム	バイク	ラン	備 考
スーパースプリント	0.4 km	10 km	2.5 km	ODの約1/4
スプリント・ディスタンス	0.75 km	20 km	5 km	ODの約1/2
オリンピック・ディスタンス(OD)	1.5 km	40 km	10 km	
ミドル・ディスタンス	2.5 km	80 km	20 km	ODの約2倍
ロング・ディスタンス	4.0 km	120 km	30 km	ODの約3倍
アイアンマン・ディスタンス	3.8 km	180 km	42.195 km	

#### 3.2 その他の規格

種 類	スイム	バイク	ラン	備 考
アイアンマン 70.3	1.9 km	90 km	21.0975 km	アイアンマンの半分
トライアスロン 101	3.0 km	130 km	30 km	合計約101マイル

### 4. 一人で複数種目を行う その他の競技

- 2種目： バイアスロン、デュアスロン、ノルディック複合、チェスボクシング
- 4種目： クアドラスロン
- 5種目： ペンタスロン、近代ペンタスロン（近代五種競技）
- 7種目： ヘプタスロン（七種競技）
- 8種目： オクタスロン（八種競技）
- 10種目： デカスロン（十種競技）
- 20種目： アイコサスロン（二十種競技）

### おもしろクイズ

（ヒントはこの本文と次項の「三原の祭り」に記載されています）

1. トライアスロンが始まったのは、どちらの国でしょうか？  
(ア) 日本 (イ) アメリカ (ウ) ギリシャ
2. 「第1回さぎしまトライアスロン」が開催されたのは？、  
(ア) 昭和60年 (イ) 平成2年 (ウ) 平成20年
3. 今年第28回さぎしまトライアスロンでスタートの合図は？  
(ア) 大会会長の発するピストルの音  
(イ) 大会実行委員長の叩く太鼓の音  
(ウ) 天満市長の吹くエアフォーンの音
4. 同上大会当日の気温は？  
(ア) 30℃ (イ) 32℃ (ウ) 34℃

クイズの解答

1- (ウ) 2- (イ) 3- (イ) 4- (イ)



# 三原のお祭り



## 第28回 トライアスロンさぎしま大会

三原市におけるスポーツの祭典といえは体育の日に行われる「三原市民体育大会」と、鷺浦町全町をあげての8月20日前後に行われる「トライアスロンさぎしま大会」があります。

2017年8月20日(日)第28回トライアスロンさぎしま大会(民間主催のトライアスロン大会)が、ボランティアの皆さんの協力の下、今年も盛大に開催されました。

### 1. 大会要領

開催地 広島県三原市鷺浦町(佐木島全域)  
主催 トライアスロンさぎしま大会実行委員会  
種目・距離  
スイムコース(左回り向田海水浴場1周1.5km)  
バイクコース(右周り佐木島 4周42km)  
ランコース(右周り佐木島 1周10km)

定員・参加費 個人 400人・15,000円、  
チームリレー 40チーム・36,000円

表彰 各クラス1位~3位を表彰  
男子総合、女子総合  
男子年齢別35歳未満  
男子年齢別45歳未満  
男子年齢別55歳未満  
男子年齢別55歳以上  
女子年齢別40歳未満  
女子年齢別40歳以上  
チームリレー

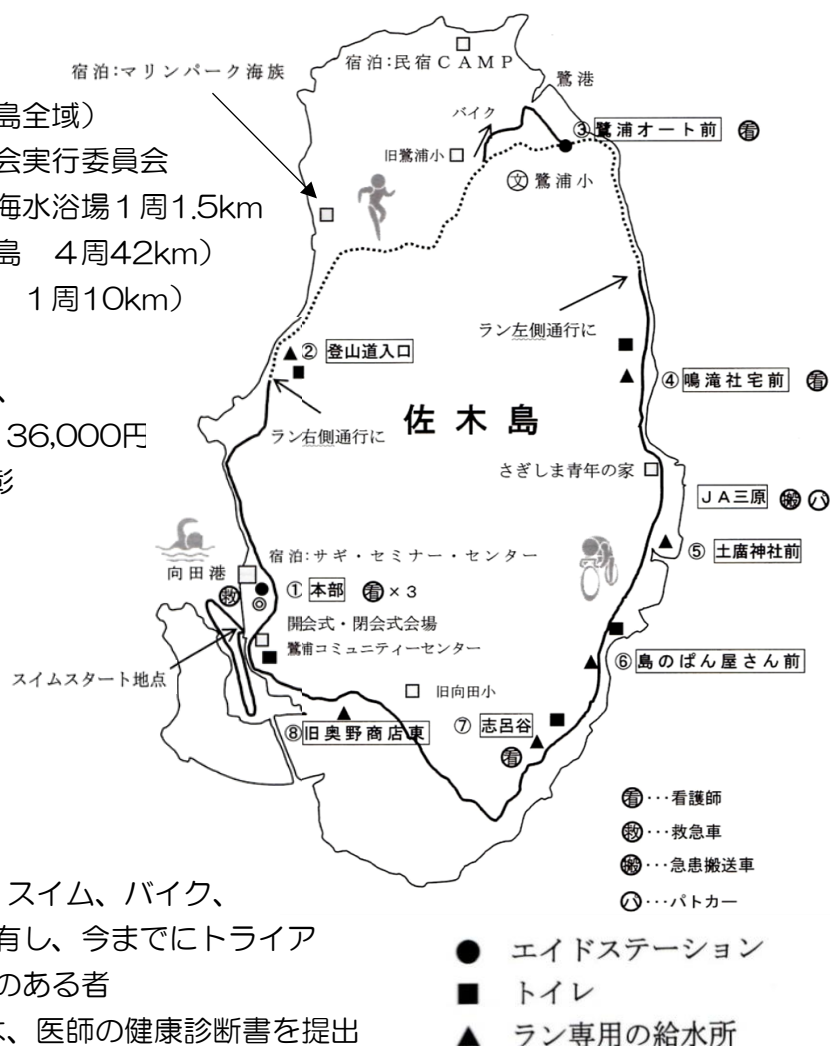
参加資格 16歳以上。健康な男女で、スイム、バイク、マラソン等の競技に経験を有し、今までにトライアスロン大会に参加した実績のある者  
(65歳以上の者については、医師の健康診断書を提出すること)

申込期間 平成29年4月5日~平成29年5月31日必着

許可通知 6月中旬~6月下旬

開会式 午前9時

スタート時刻 10時



2. 交通機関 JR三原駅南出口から南へ徒歩5分で三原港。  
三原港からフェリー重井行[三原-鷺-重井]に乗船し、25分で鷺港着。  
会場まで車で10分程度。  
また、会場となる向田港に直接着くフェリーの臨時便も運行されました。

### 3. 大会概要

9時から開会式、競技規則など説明があり、いよいよ10時、17歳から70歳までの鉄人が参加、暑さのなか過酷なレースの開始です。

競技者はウエットスーツを着用し、天満三原市長のエアフォンの合図で向田海水浴場のスタート地点をスタンディングスタートし、一斉に折り返しブイを目指して泳ぎ出す選手達、最後のゴールまでの制限時間は4時間です。

今年もこの制限時間内に407名の選手が完走しました。

当日の気温は32℃、水温は24℃で出場者は433名（チーム37組111名含む）。



臨時便でぞくぞく到着する応援団



鯉のぼりも出迎えてくれて



天満市長挨拶



選手宣誓



まずはスイム競技  
スタート前の準備運動



一斉にスタート



折り返し地点のブイを目指して懸命に泳ぐ



バイクのスタート



登り坂もぐいぐいと



バイクの2周目3周目は速い



ラン選手もスタート



男子総合優勝者のゴールイン

トライアスロンさぎしま大会は、三原市沖に浮かぶ周囲約16kmの長閑な佐木島の豊かな自然を背景にして、平成2（1990）年、島の活性化を目指して始まった大会です。

今年28回を迎えたこの大会も、第1回大会を開催した当時の島の状況とは、人的にも大きく環境が変わったことから、第30回大会を節目に、見直しも予定されているそうです。

人口減少という流れに影響されながらも、「美しい島の情景と素朴な島人の島に持つ愛情は、以前よりも強くなり、人々の絆は強くなっている」と実行委員長は話してくださいました。



抱きかかえられながらゴールする選手



家族でフィニッシュ



チームでゴールイン



力強いラストスパート



お父さん頑張って



三原やっさ太鼓も応援



男子総合 1位から3位表彰



女子総合 1位から3位表彰



チーム 1位 表彰



チーム 2位 表彰



今年はバナナエイド



トマトエイドも



給水ボランティア



トライアスロンさぎしま大会の  
幟旗も参戦

# 石碑が語る三原の歴史

小早川隆景公が三原城を築城して、すぐ城下町として整備したのが東町です。最近、道路が改修され、城下町の面影は無くなってしまいました。ただ何本かある小路を歩くと、わずかに城下町の姿を偲ぶことができます。

三原城の東築出の東に外堀の役をしていた和久原川がありますが、その東に江戸時代に古浜塩田が造られました。雨の少ない瀬戸内の特色を生かした入浜式の塩田でした。その後、能率の良い流下式に変更されて持続していましたが、製塩が化学的に工場でなされるようになり、三原の塩田の歴史は幕を閉じました。今回はかつて城下町として栄えた東町界隈の石碑、標柱について調べてみます。

## 道 標



横幅 18cm  
厚さ 15cm  
前面高さ 115cm  
後面高さ 123cm

他2基もこれに  
準じます



〔今小路標柱〕

〔新八小路標柱〕

〔我里屋小路標柱〕

隆景公は城下町東町をつくるに当たり、後に西国街道となる主道路を東西に設け、南北に小路を連結して、その道に沿って町屋を設けました。ここは毎年神明市で賑わい、長く城下町としての風情を残していましたが、道路が拡張され、城下町としての面影がすっかりなくなりました。しかし、細い小路にはまだ城下町の佇まいが残っています。南部の小路は、東から我里屋小路、新八小路、今小路と名が付けられています。ただこの小路の名前も人々から段々忘れられようとしています。先年この小路の名を残そうと、「みはら歴史と観光の会」と地元有志により、小路の入り口に標柱が建てられました。我里屋小路は酔心山根本店の西側の小路です。新八小路は古浜塩田に通じていました。今小路の南は、和久原川に架かる今橋を通じて、三原城内の東築出の最東部に連絡していました。昔、町人は簡単に城内には入れませんでした。三原城は地理的条件により、西国街道が城内の侍屋敷を通過していました。東西の入り口には大手門があり、その中間に二つも門があり、道中曲がり角が14もある嚴重なものでした。しかし上記の今橋は門も無く、城内に通じていました。古い三原城の絵図に東築出の最東部に町屋と描かれたものがあります。東築出の南に馬ノ口といわれる突堤があり、内側には雁木が設けられ、三原城の港の役をしていたので、その港の荷役に従事した町人がこの町屋に住み、東町と今橋を通じ自由に出入りできたと思われます。古絵図の中には藤井橋と描かれたものがあり、今橋と藤井橋との関連がよく分からず疑問が残っています。

# 記念碑



〔古浜土地区画整理記念碑〕



〔同碑裏面〕

昭和四十一年八月  
三原市古浜土地区画整理組合建之

幅 113cm  
厚さ 37cm  
高さ 224cm  
台高さ 70cm

〔側面文字〕

古浜2丁目、国道185号線（旧国道2号線）に沿ったセブンイレブンの南の公園内に、自治大臣永山忠則の揮毫による「古浜土地区画整理記念碑」が、昭和41（1966）年に建てられています。碑の裏面には土地改修の経緯、実績、土地区画整理組合員名等が彫られています。

元禄13(1700)年に三原城の東築出の東、和久原川を隔てた地に古浜塩田が、東町の町人により造成されました。製塩方法は古くからいろいろあったようですが、江戸時代になると、「揚浜式塩田」「入浜式塩田」が開発されました。「揚浜式塩田」が塩田の砂に人力で海水を撒く方式に対し、「入浜式塩田」は塩田の周囲の海水溝から毛細管現象により、砂に海水を浸透させる方式で、労力が少なくすむので、古浜塩田を含む当地方の塩田は「入浜式塩田」を採用しているものが多かったようです。

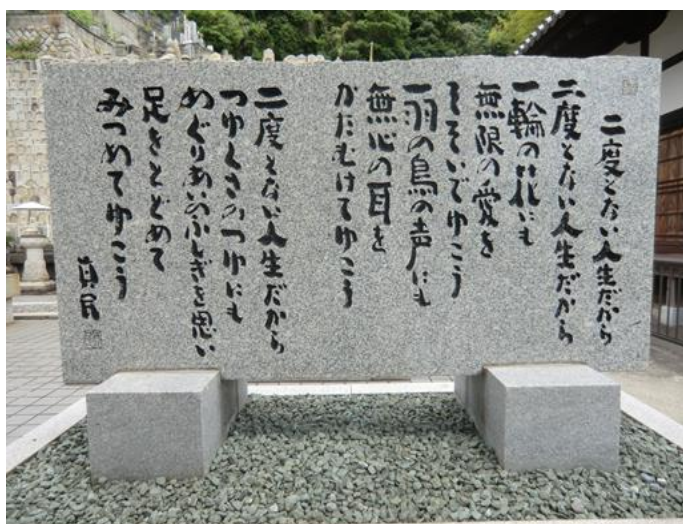
雨の少ない瀬戸内海沿岸には各地に「入浜式塩田」が設けられ、三原でも製塩業は重要産業になっていました。天保年間(1830～44)に、古浜新開の東隣の東野村（現在の糸崎）にも新浜塩田（天保新開）が尾道の豪商橋本氏により開発されました。しかし、この新浜塩田は大正年間(1912～26)に神戸の勝田氏が購入し、工場用地として埋め立てました。この勝田埋立地に、日東セメント（後の山陽白色セメント）と三菱重工業が誘致されました。

古浜塩田はその後操業をしていましたが、昭和28(1953)年頃より、長く続いた「入浜式塩田」から効率の良い「流下式塩田」に変更されました。その後、昭和34(1959)年に政令により塩田が廃止されました。その為、土地区画整理を余儀なくされ、国道の路線変更、三菱重工業古浜工場の誘致、住宅・商業地区の計画、新幹線三原停車に伴う四国連絡の国道フェリーの発着場（現在は廃止）等の大変な事業が行われ、300年も続いた塩田の面影は全く無くなりました。

この記念碑が人々の脳裏から忘れ去られようとする古浜塩田の存在を、永く後世に残すことでしょう。



## 句碑・詩碑



裏面

当山七五〇年記念  
願主 澤野 正



裏面

当山七五〇年記念  
念仏会一同

[「二度とない人生だから」碑]

幅	180cm
厚さ	23cm
高さ	92cm
台高さ	18cm

[「念ずれば花ひらく」碑]

幅	50cm
厚さ	31cm
高さ	205cm
台高さ	32cm

米田山の山麓に浄土宗極楽寺があります。嘉禎3(1237)年に本郷の船木に創建された極楽寺は、隆景公三原城築城に伴い糸崎谷に移され、その後寛永14(1637)年に浅野家の家臣によって現在の地に移されました。極楽寺の本堂は、県の重要文化財に指定されています。また山門は、新高山城の搦め手門が移されて、三原町奉行所の門として使用されていたのを、明治11(1878)年に再度当寺に移されたものです。この門は安土・桃山時代の作と伝わり、市の重要文化財に指定されています。

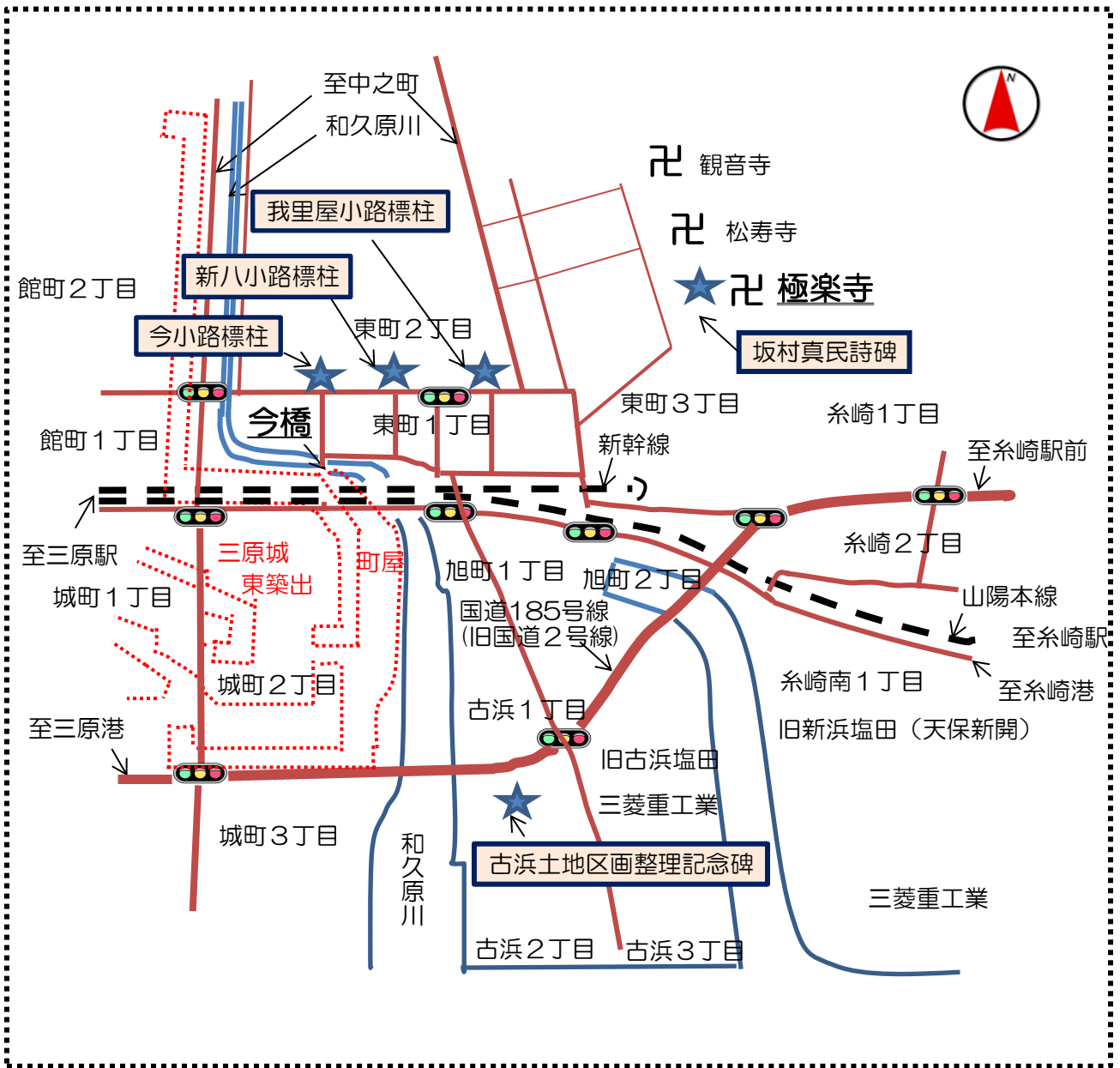
極楽寺の境内には、坂村真民の詩碑が2基あります。坂村真民は明治42(1909)年に熊本県に生まれ、旧神宮皇學館を卒業し、国語教師として教鞭をとりながら詩作に励みました。尼僧杉村春苔に出会い大きな影響を受けたといわれています。また、一遍の生き方に共感し、癒しの詩人といわれました。

晩年は四国の砥部町に「たんぼぼ堂」と称する居を構え、詩作に専念しました。詩は解りやすいものが多く、小学生から財界人にまで愛されました。特に「念ずれば花ひらく」は真民の代表的な詩で、多くの人の共感を呼び、日本のみならず世界各国に730余基の詩碑が立っているそうです。

上記2基の碑は、平成元(1989)年の極楽寺の創寺750年慶讃法要の記念事業として建立されたものです。この法要には坂村真民先生が来寺され、「二度とない人生だから」の演題で記念講演をされました。全国から多くの方が来寺され聴講されたそうです。

また、この極楽寺境内に日本一の青山コレクション達磨記念堂があります。極楽寺の先住故石井章道老師が蒐集されていた達磨に、東広島市で病院を運営されていた、故青山照美先生が蒐集されていた達磨を、遺志により寄贈されたものを加え、合計約7000体の達磨が納められています。神明市の時、隔年に一般公開されるそうです。

# 概略マップ





# 三原にある狛犬



今回も、大和地区の狛犬を紹介します。（神社の由緒説明文は広島県神社誌による）

## 49. 大草八幡神社（旧称 大宮八幡宮） 三原市大和町大草8369

永享10(1438)年の創建とされ、往古は字西ケ久保に鎮座したが、何時の頃にか現在地に移った。大正8年神殿などを全焼し、翌9年再建する。なお、大正5年に金村神社を合祀したが、昭和26年に分離する。境内には大草地区戦病没者慰霊碑がある。



	(単位：cm)		
	高さ	幅	奥行
阿形	107	40	80
吽形	107	40	80
年代	昭和 10(1935)年		
石工	不明		
石材	花崗岩		
型	玉乗り型		



## 49-2. 天満神社（大草八幡神社の摂末社） 三原市大和町大草8369



	(単位：cm)		
	高さ	幅	奥行
阿形	62	19	45
吽形	62	19	45
年代	昭和10(1935)年		
石工	不明		
石材	花崗岩		
型	玉乗り型		



## 50. 上草井八幡神社

## 三原市大和町上草井602

天文24(1555)年小早川棕梨弘平が棕梨夏焼に上草井、下草井、棕梨、大具、小田の五ヶ村の総鎮守として一社を建立し、その後寛永年中(1624~44)、一説に寛文中(1661~73)に氏子争論により火災となり神社は焼失した。その時氏子は競って神体神器を奪い合って各村別に八幡宮を奉祀したと伝えられている。その際持ち帰ったという随神狛犬が現存している。明治40年、上草井字中山に鎮座の諏訪神社を合併した。また、大迫山の小祠に当時の火災により焼焦げたと伝えられる焼神様2体が奉祀されている。



	(単位：cm)		
	高さ	幅	奥行
阿形	62	20	45
吽形	62	20	45
年代	明治 42(1908)年 10月		
石工	不明		
石材	花崗岩		
型	お座り型(きつね) (阿形は巻物をくわえる)		



49. 大草八幡神社（旧称 大宮八幡宮） 三原市大和町大草8369

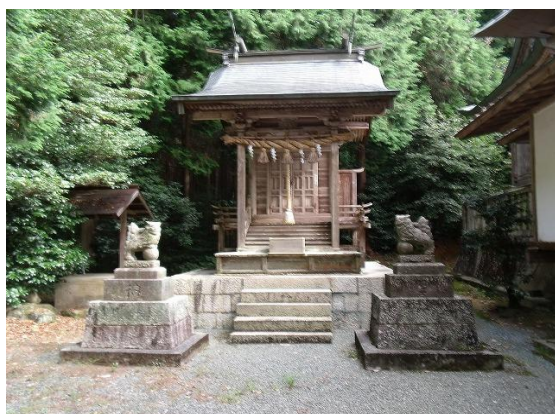


【参道全景】



【社殿全景】

49-2. 天満神社（大草八幡神社の摂末社）三原市大和町大草8369



【小祠全景】

50. 上草井八幡神社

三原市大和町上草井602



【参道全景】



【社殿全景】